

# 風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、  
確実な情報が大事  
その次に迅速な対応



### 大雨注意報・ 警報の 発表基準

#### 大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

- ・平地地：1時間雨量30mm
- ・平地地以外：1時間雨量40mm
- ・土壌雨量指数基準7以上

#### 大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

- ・平地地：1時間雨量50mm
- ・平地地以外：1時間雨量60mm
- ・土壌雨量指数基準9以上

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

### 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

### 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

### 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い 猛烈な	44m/s以上54m/s未満 54m/s以上

### 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりがよくなる発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・ラジオなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、  
注意して  
おきましょう！



#### 地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。

# 竜巻対策(竜巻から身を守る)

## 竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです
- ろうと状や柱状の雲を伴っています
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します
- 短時間で、狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします  
被害は、長さ数km、幅数十~数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります  
過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

**建物等の被害は防げませんが、  
身の安全を守るための対策は可能です!**

## 『竜巻注意情報』が発表されたら...

- 特**
- ・ 人が大勢集まる屋外行事
  - ・ テントの使用や、子供、高齢者を含む屋外活動
  - ・ 高所、クレーン、足場等での作業
- のように、安全確保にある程度の時間を要する場合には、  
早めの避難開始を心がけてください。

**発達した積乱雲の  
近づく兆しがある場合には、  
頑丈な建物内に移動するなど、  
安全確保に努めてください。**

### 『発達した積乱雲の近づく兆し』とは...

以下のような状況になると、竜巻の発生するような発達した積乱雲が、あなたの間近まで近づいている可能性があります。

- ◆ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ◆ ヒヤッとしたり冷たい風が吹き出す。
- ◆ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。



(注)発達した積乱雲が近づいた場合の代表的な現象を記したものです。しかし、これらの現象が必ず発生するとは限りませんが、もしも感じたら、早めの避難を心がけてください。

**『竜巻注意情報』の発表から約1時間は注意してください。  
危険な気象状態が続く場合は、改めて情報を発表します。**

## 『竜巻注意情報』で竜巻への注意を呼びかけます

竜巻発生の可能性に応じた段階的な情報発表を行います。



### 竜巻発生!!

○●竜巻注意情報 第1号  
平成××年7月25日14時56分 △△地方気象台発表  
○●情報は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっていきます。空の様子に注意してください。雷や急な風の急変など積乱雲が近づき始めている場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。  
この情報は、25日16時10分まで有効です。  
いつまで注意が必要か明記していません。  
(発表から約1時間が目安)

※『竜巻注意情報』は、「竜巻」だけでなく、発達した積乱雲に伴って発生する激しい突風(ダウンバースト・ガストフロント)も対象としています。

## 『竜巻』が間近に迫ったら...

**すぐに身を守るための行動をとってください!**



**気象庁**  
Japan Meteorological Agency  
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4  
電話: 03-3212-8341 FAX: 03-6689-2917(耳の自由な方向へ)  
気象庁ホームページ  
http://www.jma.go.jp (気象庁フリーソフトより抜粋引用)